

## 乗越議員、重光議員が聞く 過疎地域の夢を育む 豊栄プロジェクト

表紙写真／話をお聞きした皆さん

過疎化・高齢化が進む豊栄町において、サタケを中心に産官学民が連携し、「豊栄町に関わる全ての人を幸せにする」ことをコンセプトに、空き家の活用や里山の魅力発信などを行う「豊栄プロジェクト」が始まっています。今回は、その「豊栄プロジェクト」で活躍されている関係者の方々にインタビューしました。

### プロフィール



広島大学大学院  
生物圏科学研究科  
准教授 細野 賢治さん



広島修道大学  
人間環境学部  
講師 木原 一郎さん



豊北木材工業株式会社  
代表取締役 高橋 秀信さん



株式会社サタケ  
新規事業推進室  
室長 佐々木 智さん

## 知恵を絞って

## チャレンジングな取り組みが重要

**Q** 自己紹介をお願いします。

**佐々木** サタケで新規事業推進室の室長をしていて、豊栄プロジェクトの担当責任者をしています。

**高橋** 豊北木材工業の代表取締役で、サタケさんの思いが伝わ

るようなものを作りたいと努力しています。

**細野** 広島大学で、食糧生産を社会的にとらえて地域資源の維持をどうしていくかを研究しています。

**木原** 広島修道大学で地域の

方々をつなぐ、拠点となる場所を地域の方々と考えながらつくっていく活動をしています。

**Q** このプロジェクトへの関わりを教えてください。

**佐々木** 会社として2010年ごろから取り組み始めていて、

プロジェクトにかかわる方々のまとめ役をしています。

**高橋** 工事を担当しています。大学の先生やかかわっている方々の思いも生かしながら、プロジェクトが進むよう頑張っています。

**木原** 研究と学習、研究と社会貢献をいかに好循環させて地域を盛り上げるかというところで、解体ワークショップや塗装のワークショップなどを行っている



②



③



①



④



⑤

- ① インタビュー風景
- ② プロジェクトの中心拠点となる「豊栄くらす」食事もできる
- ③ 土壁塗りワークショップ参加者の手形
- ④ レンタサイクル「自転車くらす」が併設されている
- ⑤ 豊栄のおいしいが詰まった里山薬膳カレー

ます。

**細野** 豊栄は外から見たらすごくいい資源を持っているので、それを再発見していただきたい。食・農・健康という中で健康寿命日本一にしようというしており、それを全国に発信していく役割を担っていると思っています。

**Q このプロジェクトへの思いを教えてください。**

**高橋** 拠点を作り情報を発信していくことで、何か波紋が起これば、それをキャッチして次のステップにつなげていってもらいたいなあと思っています。

**佐々木** 豊栄にはオオサンショウウオをはじめ隠れた資源がたくさんあります。一次産業を活性化させながら豊栄全体を活性化させていきたいです。

**細野** 農家さんの自給用の野菜は安全性が高く品質がすごくいい。これを出荷して収入にすることが積みあがって耕作放棄地がなくなっていくという事例もあり、底上げという意味で高齢者に生き生きと農業をしてみよう環境

づくりが大事だと思います。

**Q 最後に一言お願いします。**

**細野** 地域の方々のおかげで広島大学があると認識しながら今後活動していきたい。ともに歩んでいきたいと思っています。

**木原** 修道大学も地域貢献、社会貢献を非常に大きな課題としており、長い目で今後も何らかの形でお力添えできればと思います。

**高橋** 地域をとにかく生かしたい。この地域は特色が大きいわけではなく、あるのはこの豊かな自然です。このプロジェクトから食の文化が浸透していくことも不可能ではないと感じていて、私もできる限りのことはしていきたいと思っています。

**佐々木** 行政大学、JAGグループ、地元の企業とサタケも一緒になってつなげていきながらまちづくりができれば活気ある農村ができるのではないかと思います。知恵を絞ってチャレンジしていくことが重要じゃないかと思っています。